

「七十七ビジネス大賞」「七十七ニュービジネス助成金」受賞企業紹介

第2回 「七十七ビジネス大賞」受賞企業（平成11年度）



代表取締役社長
佐浦茂雄氏

株式会社佐浦

住所 : 塩釜市本町2-19

設立年 : 昭和31年

業種 : 酒類製造・販売

資本金 : 10百万円

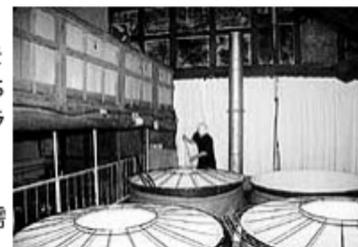
従業員 : 74名

地酒として県外でも高い評価 宮城県の知名度アップに大きく貢献

事業の概要



当社は、享保9年（1724年）に塩釜神社の御神酒酒屋として創業以来、270余年にわたり醸造業を営む。近年は消費者の嗜好の多様化に対応し、いち早く吟醸酒の開発、製造に取り組み、「浦霞」ブランドで全国的な地酒ブームのきっかけを作った。販売先は、県内のみならず、首都圏をはじめとする県外向けが全体の約4割を占め、常に安定した需要がある。



受賞の理由



当社は、「量よりも質」との経営方針から、本物の日本酒を丁寧に造る高品質の酒造りを追求しており、たとえ品不足となっても決して他の醸造元からの買い酒は行わず、自社が責任を持って造りあげた自社醸造酒の出荷にこだわり、高品質の製品造りを実践、消費者の高い支持を得ている。宮城県を代表する地酒である「浦霞」、なかでも「浦霞禅」は首都圏をはじめとする県外でも評価が高く、宮城県の知名度向上に大きく貢献しているとともに、長年にわたり地域経済の発展に寄与してきた功績は非常に大きなものがある。需要増加への対応として新蔵を矢本町に建設し製造能力を拡充。新蔵においても品質を

本社蔵と同様に保つために、水や酵母などを本社蔵と同じものを使用するなど、品質維持の体制を確立しており、今後の事業拡大にも期待が持たれる。

[▶ BACK](#)